

サワタイムズ

奈良のエコスタイルを発信する「サワ~タイムズ」。



茶話のタイムズ

2016年12月



発行元：奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW)

**COOL CHOICE
特別号!**

ワクワクする空間、もっと買い物を楽しみたい、そんなあなたにはびったりのお店だと思いますよ!



ウォームシェア・クールシェア

ZOROでの散策もエコな活動。省エネの形はアチコチに。

11月1日にリニューアルオープンしたならファミリィ。あなたはもう行かれたでしょうか？
今回はそのならファミリィに、リニューアルのポイントをお伺いしてきました。
これを読み終えたあなたは、きっとならファミリィに行きたくなっているはず!

心に響く品々(衣・身の回り)
—新しい時代の風が奈良に気分もリフレッシュ—

今回誕生した「ZORO」ここは今回のリニューアルに伴って奈良初出店のテナントも数多くあります。
ところで、この「ZORO」(そろ)という名称の由来をあなたは気になりませんか？
この「ZORO」という名は「そろそろ歩く」から来ているそうです。スタッフの皆さんはお客様に「楽しんで買物をしていただきたい」、「今まで大阪や京都に買物に行っていた人にも来ていただきたい」という思いを持ってもらえる熱意を感じました。



これは、タカラウダです!

普段の生活目線で[賢い選択]。

COOL CHOICE特集号

2005年の流行語大賞はクールビズでしたが、今はクールチョイスCOOL CHOICEで、賢い選択をしましょう。



●賢い選択の例●

ひざ掛けでこまめな体温調節。ストールは、ひざ掛け代わりに。



今回のリニューアルのテーマは、「大和モダン」。
これはならファミリーが考えておられる、「奈良らしさ」です。



素材にして豪胆、つまり素材を生かした自然の美。これが「ZORO」のデザインコンセプトとなっているようです。

「大和モダン」をテーマとしたならファミリーでは木材を利用し、奈良らしさを生かした建築デザインになっています。

中でも天井は奈良をイメージしたものが描かれているとか…。これは自分の目で確かめないと！

ところで、皆さん！

ならファミリーがリニューアルする前はどんなイメージを持っていたでしょうか？

ならファミリーをよく知る主婦世代の方にお伺いすると、「高級なイメージがある…」「若い子たちはここで買い物をするのかしら？」そんなイメージを持たれていたようでした。

しかし、今回リニューアルしたことにより、幅広い世代の女性が楽しめるようになりました。

また、最近皆さんはお得情報をSNSで見つけますよね？
ならファミリーも左のように。

narafamily

ならファミリーSNS公式アカウント誕生

お得な情報やイベント情報をいち早くお届けします！



Facebook・Instagram・LINE

スマートフォンでも情報をゲットできるようになりました！



個人的には、若者が買いやすいお店が増えて、気軽に来れそうな印象を受けました。

そして、1階には女性のお客様がゆっくりお化粧直しもできる、パウダールームも登場しましたよ。

取材は11月中旬に行ったのですが、クリスマスシーズンということもあり、沢山の可愛い雑貨が置かれていました。
高校生カップルもお揃いの雑貨を手にとっていたりとてもワクワクする空間でした。

女性のお客様が多くいらっしゃる
Afternoon Tea "gram"を訪れました。



「gram」では、美味しいパンケーキを食べました。とても人気のお店と言う事もあり、私たちは30分待ちで食べました。パンケーキはふわふわしていて、とても美味しかったです！

さて、今回取材させていただいた新しい「ならファミリー」はいかがでしたか？



奈良暮らしお得情報(生活) —木の香りに満ちた やすらぎと対話の弾む場—

木の香りがする、あたたかい空間で食べるご飯は心が和みます。

働いたあとに、仕事仲間と同じテーブルで、一緒に家庭的なご飯を食べながら話をすれば、午後もまたお仕事頑張ろうと思える、そんな素敵な、木のやさしさに包まれた食堂が、近鉄新大宮駅の近くにあります。

社会福祉法人「ぶろぼの」の食堂、「ぶろぼの食堂」です。

「550円で食べられて、ふつうのだけれど、上質なお昼ご飯」、親子共に味噌汁、サラダにひじき、おいしいお茶…。

どれも業務用の半製品を使わずに、国内、奈良県の素材を購入して使い、ドレッシングもシェフや従業員の手作りしたものを提供しています。特別豪華なメニューというわけではないのですが、一目見ただけで手間暇がかけられた、心のこもった丁寧なメニューであることが伝わってきます。

550円で食べるには賢沢する気がしてしまいます。



食堂内は一面木で包まれており、まさに癒しの空間です。

壁や机に目をやると様々な種類の木材を目にする事ができます。ヒノキやマツ、ケヤキやクスにサクラ…。なんと壁には12種類の木材が使われているといわれています。そしてCLTという、板の層を直行させる形で積み上げ接着した厚みのある木材で作られたテーブル。なぜこのような建築素材が食堂のテーブルに？



それはぶろぼの福祉ビル自体がこのCLT構造で作られた建物であるからです。

障がいのある方にやさしい職場環境をつくりたい、という考えから森林の中のように、木で包まれたやさしい空間をつくらうと思っただけです。

それで、CLTは断熱性や遮炎性に優れた素材で、木造のビルを実現できることから、このCLT構造が採用されました。

ちなみに、この福祉ビルの建物は2016年のウッドデザイン賞を受賞されています。



食堂のテーブルには大きなCLTの机が1つ。個席はありません。これは、従業員みんなでご飯を食べたいからです。仕事に追われると、ついつい食事は簡単に1人でばばっと済ませてしまいたくありませんが、このような落ち着いた空間だと、仲間と食べるご飯の美味しさを実感してしまうのではないのでしょうか。

もちろん、私たちのようにぶろぼを訪れる人にも、お客としてゆつくり味わえます。

また、食堂の出口周辺には障がいのある方々が作った愛らしい蝶や生き物、鉱物をモチーフとしたブローチ、よもぎ茶やよもぎ風呂のセットなどが販売されています。

私たちは食堂だけでなく、職場の方も見学させていただいたので、ブローチの制作過程を一部見させていただきましたが、障がいのある方々が一つ一つ丁寧に手作りで作られたものです。

ぶろぼのには、このような製品を作っている方だけでなく、ITの仕事をしたり、会計や事務処理など様々な仕事をする方がいます。障がいのある方々に「働きやすい環境を提供したい」という配慮が、建物のつくりにも食事にも現れているようで、とっても心安らぐ職場でした。



ちなみに、このぶろぼの食堂は一般の方もお食事を楽しめ、夜営業もやっています。近くに住んでいる方は一度足を運んでみてはどうでしょうか。

いにしえの香り(土地柄) 一千年を超える伝統、荘厳な奈良の歴史に触れる



今回は、冬の風物詩であるお水取りで有名な東大寺に取材に行ってきました！

私は昨年、二月堂にお水取りを見に行ったのですが、寒いなかたくさんの人が来られていて驚いたのを覚えています。

また、お堂の中を駆け歩いていくたいまつに感動しました。

お水取りについて簡単にご説明します。

お水取りは天平勝宝4年(752年)に東大寺を開山した良弁僧正の高弟である実忠和尚によって創始されました。修二会とも呼ばれているお水取りですが、正式名称は十一面悔過(けか)といいます。十一面悔過とは、私たちが日常犯しているさまざまな過ちを、二月堂の本尊である十一面観音菩薩の前で懺悔(ざんげ)することを意味します。

11人の修行衆が、私たちの罪を被って代わりに懺悔してくれます。



正倉院展では。

毎年秋に開催されている正倉院展では、化学染料では残すことができない色が残っているものが展示されています。これらは、時代が下るにつれて使われなくなってしまったので、現代ではその技術が失われていきました。

ものを大事に使い続けることも大事だけれど、使うことによって昔の人の思いが詰まった技術を残すことができる、佐保山さんから新しいエゴの形を教わりました！

今回お話を伺った佐保山さんは、「続けていくのは大変だが、ものは使わないとなくなってしまう」とおっしゃいました。昔からのものを長い間使い続けることはたしかに大事だけれど、需要がないものはなくなってしまうそうです。これはお水取りにも言えるそうです。大仏開眼のときから途絶えることなく続いているおかげで、たいまつ竹を育てるところが残っていたり、お水取りのときに着る紙の衣を作る人がいたり…。継続的に使う需要があるからこそ、現在まで継承されてきた伝統があるんですね。佐保山さんはこれを「文化財のエゴ」とおっしゃっていました。



ここで「つたいまつ」について、お水取りで印象に残りやすいあのたいまつですが、あれはお坊さんが持っているのではないとご存じだったでしょうか？

実は、お坊さんについている童子がお坊さんの足元を照らすためにあるのだそうです！

私はお坊さんが持っているのだと思っていました…。

たいまつに灯すあの火はどこからきているかご存知ですか？

一徳火というものからきているんです。この一徳火は堂童子である一徳法師(いっとくほし)さんがつける火なのでそういう名前前で呼ばれています。

火打石でつけられるこの火は清らかで、火がつくときはまさに火が生まれるような感覚になるそうです。

二月堂では1年間この火を使い続けているそうです。

身近な広報誌(NEW) 「奈良市地球温暖化対策地域協議会」の紹介

近年、台風は頻繁に、しかも巨大になっていきます。雨も「経験したことのない程の雨量」などと、恐ろしい形容詞がついています。これは二十数年前から予想されていたことではありますが、実はその頃は半信半疑でした。

しかし近頃の気候はまさしく「変動」しています。台風はほとんど発生し、巨大化し、「かつて経験したことのない」量の雨が降ります。私たちはただ、台風が進路を日本に向けないように、自分の住んでいる地域に大雨が降らないように祈るしかありません。

しかしこの変動の原因は私たち人間なのです。過去の数々の公害裁判では被告企業がありました。対すべき相手が明確だったのです。しかしこの温暖化裁判では人類全てが被告です。人類は自分自身で被告の裁判をしなければなりません。始まったばかりの人類相手の裁判…。

これは大変難しいことですが、それがNEWの存在意義なのだと思います。この頃です。

NEW会長 許斐喜久子

雨水タンク

奈良市では、省エネ・省資源対策の一環として、雨水タンクの設置費用の一部を補助する制度があります。雨水タンクの水は、草花への水やりや震災などでの非常用水としても利用できます。詳しくは、基末の事務局にお聞きください。



この冊子は、平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業)を財源にしています。

登録
無料



読者登録の
お誘い

奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW)では、イベントなどの活動案内もしておりますので、「茶話タイムズ」を継続してお読みいただける方を登録しております。

登録料は無料ですので、後記の事務局にお申し込みください。



クールチョイスってなに？ (買い選択)

今までの省エネ普及のクールビズやウォームビズ、エコドライブやクールシェア、みんなで節電アクションなども含んで、より多くの国民が参加することにより、社会経済のあり方やライフスタイルを変えていこうとするものです。

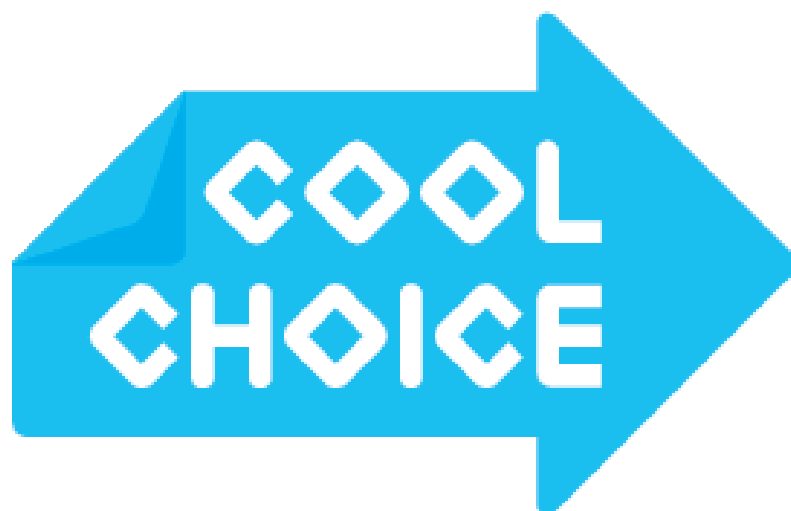
例えば、エコカーを買う、エコ住宅にする、エコ家電にする、という「選択」。

例えば、高効率な照明に替える、公共交通を利用する、という「選択」。

例えば、クールビズを実践する、という「選択」。



COOL CHOICE賛同の方法 別添の賛同用紙に記入してご提出ください。インターネットからも可能です。



未来のために、いま選ぼう。

地球温暖化対策のための国民運動 「COOL CHOICE (=賢い選択)」

2015年、すべての国が参加する形で、2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択されました。世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を2度未満にする（さらに、1.5度に抑える努力をする）こと、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが打ち出されました。日本は、2030年に向けて、温室効果ガス排出量を26%削減（2013年比）する目標を掲げています。「COOL CHOICE」は、この目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。

身近な生活のなかで、未来のために、いま選択できるアクションを選ぶ。あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」に参加してください。

ぜひ「COOL CHOICE」に、ご賛同をお願いいたします。
詳しくは「COOL CHOICE」公式HPへ!!



クールチョイス 検索



知っ得住まい(家電製品) —住みやすさへの手助け、ますます改良されて—

最近では家電も省エネのものが増えてきました。

そんな省エネ家電が気になったのでジョーシン奈良店さんにお邪魔しました。



まずは、これから訪れる寒い冬を乗り切るための暖房器具から紹介します。

意外かもしれませんが今回紹介する暖房器具はエアコンです。

最近では火災防止などの安全性の観点から、灯油やガスを使う暖房器具ではなく、エアコンを選ぶ消費者が増えてきているようです。

エアコンを選ぶ際のポイント

「低温時暖房能力」…外気温が2℃の時の暖房能力。これが高い程、パワーがあるエアコンということになる。

<目安>

6~7畳の部屋用 4.1kW以上

8~10畳の部屋用 5.3kW以上



エアコンというと外が寒いと温風が出ていくくなる、部屋が暖まるのに時間がかかる、空気が乾燥する、電気代が高いなどといったイメージを抱かれています。が、最近のエアコンはすぐに部屋を暖めることができ、外が寒くても室内を暖めることができます。また、加湿機能や空気清浄機能付きの機種もあります。もちろん消費電力は古い機種と比べると格段に減っています。

次にLEDライトの紹介です。今は蛍光灯の照明器具は流通しておらず、LEDになっていました。この早い変化にはビックリです。NEWの活動では、LEDでの省エネを推奨しています。



今回気になったのはパナソニックさんの製品で天井も照らすもの。従来は下向きにしか出ていなかっただけを、天井にも向けることで部屋全体に光が届き、明るくなります。また、人がいる部分だけを照らし、他の部分は照らさないといったものもあります。

LEDが照らし出すのは、環境に優しい未来です。

COOL CHOICE

NEWからの活動紹介

- 奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW)は、市民・事業者・行政等、多様な会員が等しい立場で和をもって協議し、温暖化防止活動に取り組んでいます。
- ① 省エネ・創エネプロジェクト
 - ② 環境教育プロジェクト
 - ③ 3Rプロジェクト
 - ④ 交通プロジェクト
- また、機関紙ならエコエコの和NEWSを発行しています。

ご参加いただける方の入会を歓迎いたします。詳しくは、巻末の事務局にお聞きください。



NEW

せら エコエコ 和

モンゴル・東、中央部

この遊牧民たちは、バオと呼ばれる移動式住居で暮らしています。ドーム型住居の天井は天窓になっており、昼間は日差しをとり入れ、熱を取り込みます。冬になると家を覆う布を増やし、絨毯の下に家畜のフンを敷いて寒さをしのいでいたそうです。



トルコ・カッパドキア

ここにあるのは、なんと岩の中にも作られた洞窟の家です。もともとはキリスト教徒が迫害から逃れるために造ったものだといわれています。岩は凝灰岩のため、掘りやすくなっていますが、それでも高い耐久性と断熱性があります。



インドネシア・スマトラ島

熱帯気候に位置するスマトラ島。トバ湖周辺には、鞍型屋根の切妻高床造りの住居が並びます。1階の床は地面から1・6メートルの高さにあり、風通しがよく、湿気が予防できます。それだけでなく、動物の侵入を防いだり、水害から家を守ることもできます。



カナダ・北部

日本のかまくらに似た雪の家、イグルーは、イヌイットたちが狩りの時に捨てる即席の家です。居室となるイグルーはドーム型で上部ほど狭くなっています。これにより、暖かい空気が効率的に広がります。

こういった家を見ると、便利な電化製品がなくとも快適に過ごすことができることを思い出させてくれます。

大和ハウスの研究所では、快適な「家」を実現するための様々な技術を見せてもらいました。

まず、地震の体験。そのときは揺まるものがあり、周囲に危ないものがないので楽しめましたが、実際に生活しているとき突然起こったら、きつと転んでしまうと思います。奈良は大きな地震に見舞われることもないので地震を甘く見ていましたが、考えを改める良い機会になりました。そのほか、太陽光を効率的に取り込み部屋を明るくする「照度アップ窓」や高い断熱効果がある「外張り断熱通気外壁」などを体験しました。

こうした技術が発展していけば、電気・ガスに頼らない生活が可能になるかもしれません。

光を取り入れ心地良い毎日を
明るくすウインドウS

《吉野川分水》のきれいな水で奈良のお米はおいしい！

取材報告

ならコープでは、吉野共生プロジェクトに取り組んでいます。2009年からスタートしたもので、奈良県の北部だけでなく、南部東部の魅力を受け継ぎ活性化していこうという目的で始まりました。吉野の川の水で育まれた奈良県産の米「ひのひかり」を購入すると、1kgにつき1円が、森林保全活動費に充てられます。その活動によって、吉野の川は守られています。水は山から湧き出きます。川を守るには、山を守らないと綺麗な水は出てきません。そのための森林保全活動です。2015年度は、102万5958円もの基金となったそうです。





コープおしくまでは、奈良の商品をたくさん販売しています！
お店に入るとすぐに「食べるなら大和」という看板が目につきました。奈良県産の商品がそろっています。

他にも奈良県のお菓子を売っているコーナーがあったり、大和茶を売っていたり、奈良県産を大切にしていてイメージを感じました。

ならコープのお店を訪ねて、今回はコープおしくまにおじゃましました。

納得の食材と味わい(食べたい)
—消費者には心地よく、地元産のガンバリに魅力—



そして今回取材させてもらった中でとても気になったのが、お店の至る所にあるPOPです。スーパードアとあまり見かけない手書きのPOPがお店の中にたくさんありました。

そのPOPはパートさんが中心となって書いているそうです。

商品の紹介だけではなく、皆さんに役立つようなレシピや食品の保存の仕方、パートさんたちが実際に感じる事など、知りたい情報が盛りだくさんでした！



このPOPに隠された想いを聞きました。

このPOPを書く理由は、「売り上げを上げたい」という気持ちよりも前に、「組合員さんの役に立ちたい」「喜んでもらいたい」という想いがありました。



そこには店長さんの「モノよりコト」という考え方があります。

もちろんお店としてはたくさん売って売り上げを上げたい。しかし、それよりも前に利用者の方に知ってもらい喜んでもらうことが必要。いくらこの商品がいいですよと言われても、それが何なのか、どう使えばいいのか分からなければ買わないですよ。また、信頼がなければもちろん買いません。

だから、レシピを書いたり、役立つ情報を書いたりして、まずは皆さんに知ってもらい喜んでもらうことを大切にされています。





COOL CHOICE

地域の食材なら輸送のCO2も少ない。
地球に美味しい話です。



また、もう一つ気になるコーナーを見つけてきました。その名は「おかんず」です。

そこではその名の通り、おかんが作ったおかずが売られています。余計なものを使わず、家庭の料理と同じ味というこだわりがあるそうです。

既製品を調理するのではなく、できるだけ家庭と同じように、また、おかんのこだわりを大切にしています。家庭の味が感じられるのはとてもうれしいですね。

ならコープでは様々な取り組みを通して、お客さんのため、組合員さんのために活動されています。みなさんもぜひならコープへ足を運んでみてください。

編集後記

NEWとの協働で活躍してくれている奈良県立大学生7名が、冬季号の取材では6ヶ所を訪れて、若者の視点で本誌の記事を執筆しました。読者の方々が、省エネやエコ生活に少し関心を寄せていただき、本誌の情報を口コミで広げていただければ幸いです。

取材先の皆さんのご協力を感謝申し上げます。

取材先の募集

NEWでは、茶話一タイムズの取材に応じていただける事業者さんを募集しています。ジャンルは次の8とおりで予定しています。

- ・おもてなしは心地良く(観光)
- ・いにしえの香り(土地柄)
- ・知っ得住まい(住) ・奈良暮らしお得情報(生活)
- ・納得の食材と味わい(食) ・体が喜ぶそれ何?(健康)
- ・心に響く品々(衣身の回り)
- ・イベントあっと奈良(催し物)

発行:奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW)事務局
奈良市環境政策課内

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号
TEL:0742-34-4591 FAX:0742-36-5466
メール:new-nara@city.nara.lg.jp

取材応募のご連絡は、事務局へのファックス
または下記へのメールをお願いします。

narayoshida@yahoo.co.jp
(編集担当:吉田)